

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
TEL 042-795-7361 (FAX: 必要に応じて 186 を頭に加える)
議会 042-724-2171
yoshidaben@gmail.com



国民健康保険値上げと予算補填

今期の健康福祉常任委員会は、「国保条例の一部を改正する条例案」と「国保の値上げを行わないことを求める請願」を合わせて審議しました。条例改正案は、国保加入者の保険料の引き上げを織り込むものであり、請願はそれに反対するもので、かつ、子どもの均等割りの軽減を求める内容でした。



行政職員と打ち合わせ（別の機会に撮影）

請願者の説明を聞き、子どもの均等割りの軽減の提唱には共感を示す一方で、この請願自体に「反対討論」をしました。その理由は、国や東京都から、各自治体（町田市など）の国保会計を自立化させることを求められており、一般会計（市民には社会保険加入者も多数含む）からの補填を計画的に減らし、最終的にその繰り出し額をゼロにする年次計画を設定するように迫られています。それに反すると、町田市に財政的なペナルティーが科されることになり、国保加入者の負担でまかなく以外に方法はないものです。今後、医療費の削減策を検討することが最重要だと述べました。この住民請願は健康福祉常任委員会で採決となり、賛成1、反対7で不採択（否決）となりました。

イベントの食事提供の拡大状況

健康福祉常任委員会の審査において、今年の春以降に行われる各種イベントにおける食提供の在り方に関して、食品衛生指導の方針はどうなっているかを尋ねました。保健所の答弁によると、コロナ感染の一定の収束を見て、桜祭りなど野外イベントの実施における調理提供の出展許可を求める例が出てきているとのことでした。さらに夏以降の行事では、もっと回数が増え、規模も大きくなることが見込まれるというものでした。だとしたら、今後は、お祭りの場で焼きそばや焼き鳥の焼きもの類の出展は以前並みの状況に回復するのではないかと考えます。

ただし、餅つきイベントについては雑菌がつきやすく、食中毒の懸念が払しょくできず、餅つきを一般の人を対象にした行事では難しいというものでした。幼稚園などの行事においては、その場で食べるのではなく、お供え餅などの飾り物に使う方法が取られているというものでした。元来、餅つき行事に執心してきたものには残念でならない気持ちを表明しました。



◎町田市で、水耕栽培メロンの世界一決定戦を開催しよう！

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしています

若い世代の育成に全力をささげる 町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ

センタービルの行方は

一般質問で、町田市の中心街にある町田センタービルが低層階に大きな空きスペースが出来ており、今後どうなるかを尋ねました。その町田センタービルと言うのは、当初、有名な「109」がテナントとして入居していたビルで、上層階に町田市の公民館：生涯学習センターに入っているものです。この建物は町田市の持分フロアを除いて、テナントの入れ替わりが激しく、現在は下層階部分が全て空室になっています。そこで、建物の所有が誰になっているかを尋ねると、町田市が区分所有をしているスペースが3分の1ほどあり、他は民間所有となっており、両者で管理組合が構成されているというものでした。（下段の写真は、生涯学習センターまつりのショーに出演したネット映像の一部）



答弁ではこの原町田区域は「地区計画」が設定されており、建物の建設要件に制限を加えられていると言うものでした。しかし、その制限だけでは遊技場や場外施設を造ることまでは排除できないことが確認されました。昨年、町田駅前のマルイが入るビルの1F(一部2Fを含む)は横浜銀行でしたが、その場所に遊技場が入った際、町田市は「街が明るくなった」という評価だったのですが、今後の中心街あり方の方向を危惧する立場で質問したものです。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2022年10月末までに104名が参加しました。
◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。



ブログ 個人HP

QRコード メールは
左記を読み込
して送信



好評インターンシップは、
春季の第51期生を募集開始

成人式の開催と、市長の出席への姿勢

第1定例会の一般質問で町田市の成人式（二十祭まちだ）について尋ねました。参加した複数の成人から、市長はビデオ出演で現場に一切不在だったということでした。市長の健康上のこともあるが、市長の成人へのメッセージは対面が望ましいのではないかと尋ねました。答弁では、このイベントは、20歳の当事者が参加する実行委員会と町田市で共催しており、半年前に決めたものであるというものでした。しかし、私が東京都多摩地域26市の全部を調べてみると、ビデオ挨拶は町田市を含めてわずか3市でした。しかし、町田市の言い分は、「成人式は映像イベントで取りまとめた」と言い、参加者全員が総合体育館の屋内に集合するリアル形式と矛盾していました。

ちなみに、相模原市は市内3か所の会場（全部で14回開催）を市長が各会場を駆け巡り直接挨拶し、足りないところは、副市長・区長が対面で挨拶したことでした。また、横浜市は横浜アリーナで5回に分けて成人式を開催し、全てに市長がリアル参加したことを紹介し、その積極性の相違を聞きました。



市議会議長時代は、舞台で挨拶していました。